



一言コラム

シンギュラリティ

2008年ディズニーピクサーの映画に『WALL.E』というものがある。人間が住めなくなった29世紀の地球で700年間たった一人ごみ処理を続けているロボットの物語である。この映画はロボットが人間以上に人間らしく描かれている。果たしてこの「人間らしさ」とは何か…。

そう言えばウイル・スミス主演の『アイロボット』のラストシーンでもロボットがアイコンタクトで人間に「自分を信じて」と意思疎通を図り、暴走する大量のロボットを止めるシーンがあった。

AIが人間の能力を超える地点（＝シンギュラリティ）は到来するのか？これからの世の中、人間にはどんな能力が必要とされるのか。

20世紀初頭、工場がオートメーション化され始めた時代にも機械ではできない事務作業をする労働需要があったにも関わらず、工場労働者はその教育を受けていなかったために一時、失業者があふれたのだとか。

現代、アマゾンでは即日配達。ラインは即レス。こんな時代だからこそ、答えが一つでない問いを「じっくり考える」ことが大切なのではないだろうか。「幸福とは…」「生きるとは…」「人間らしさとは…」

一つの意見に「いいね」するのもいいが、自分と異なる意見にも柔軟に耳を傾け、じっくり考えて本質を読み解く。わが子にはそんな人になってほしいと思う。

自分にできることはわずかかもしれない。

だけど、日々わが子に尋ねる。Yes、Noで答えられない問いを「どう思う？」と。